

あつまる つながる まとまる 大いなる田園の町 あつま



広報 あつま



広報あつま

2017年 1月号

平成29年

もくじ CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3 年頭のごあいさつ
- 4-5 2016年を振り返る
- 6-7 民生委員・児童委員
- 8-10 平成28年第4回定例町議会
- 11 あつまでいきる
- 12-13 お知らせ
- 14-15 12月のあつま
- 16 地域おこし協力隊、作品紹介
- 17 厚高インフォメーション
クラス自慢
- 18 防災コラム、气象台ノート
- 19 健康情報
- 20 保健の掲示板
- 21 子育て支援センター
- 22-25 情報ひろば

今月の表紙 COVER

12月15日、こども園つみき(油谷諭園長)のきりん組園児が総合ケアセンターゆくりで収穫祭を行いました。自分たちが育てたお米でおにぎり等を作った後、稲わらを使ったしめ縄作りに挑戦。ボランティアの方や父母、先生と一緒に、力いっぱい縄をねじって編んでいました。



ひとのうごき

12月15日現在 ()内は前月比

人口 4,672人(±0)
男 2,290人 女 2,382人

世帯数 2,142世帯(+2)

誕生おめでとう

お悔やみ申し上げます

※窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています

12月1日~12月15日届出分

みなさんの声をお聞かせください

- ・こんな記事を読んでこう思った
 - ・こんな疑問をもっている
- など、どんなことでも結構です。

※紙面は無記名ですが、住所や氏名、年齢は伺います。

まちづくり推進課
☎ 27-3179 ☎ 27-2328

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/>
※トップページの左側に「広報あつま」のバナーがあります。

田園回帰1%戦略を実践し 人口減少に立ち向かう

厚真町長 宮坂尚市朗

2017年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお喜び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、本町が明治30年の戸長役場設置から120年の節目を迎え、9月には厳かに記念式典・祝賀会を開催し、先人の先達への感謝の誠を表し、新たな飛躍への決意を誓ったところでございます。第4次厚真町総合計画、第7次厚真町農業振興計画、厚真町教育振興基本計画など、まちづくりの指針となる各種計画がスタートした節目の年でもあり、平成27年度に策定した地方創生総合戦略の実践と本町の持続的発展に向けてさまざまな取り組みを行ってまいりました。

上厚真地区では宮の森こども園、厚南児童会館が完成し、本郷地区では新たに小規模多機能ホーム「ほんごう」が間もなく完成するなど、福祉施設の充実を図ってまいりましたが今後はさらに、子育て環境の充実とともに包括ケアシステムなどの早期構築を目指してまいります。このほかに、子育て支援住宅の増棟や「きりたんぽ」の「フオーラムビレッジ」の分譲も堅調であり、本町の注目度が増してきていると感じています。

厚真ダム建設工事は今年秋から湛水実験が開始され、関連する厚真川の改修工事、国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業などの生産基盤整備も着実に進められており、統合簡易水道の建設状況も含めて町民の悲願であった水害の



ない安全で安心な町の実現と、効率的で汎用性の高い生産基盤が整いつつあります。TPPを取り巻く国際情勢は一気に流動化しており、新農政への転換を急ぐ国政下において主業農家の不安は尽きませんが、安全で安心な生産体制の確立や消費者の信頼と評価を高める不断の努力が大切です。

規模の経済や大規模・集中型都市社会の限界や脆弱性が指摘される中、循環型田園社会の価値が再評価されてきています。全国町村長大会において「暮らしを中心とした地方の豊かさやかけがえのない自然環境が脱工業化社会の受け皿にならない」と東京大学の神野直彦名誉教授が、げきを飛ばされてきました。まさに、生産空間と生活空間、自然環境に恵まれた本町の潜在力が拡充されつつある中、「人を育て・人を残し、豊かな森と海、輝く田園を次世代へ」を普遍的テーマとして「田園回帰1%戦略」を着実に実践し、押し寄せる人口減少社会に立ち向かってまいりたいと思います。

厚真町にとって2017年が大いなる飛躍の1年となるよう、また、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

信頼と付託にこたえ 議会を目指して

厚真町議会議長 渡部 孝樹

町民の皆さま、明けましておめでとうございませう。

日ごろから議会活動に対しご理解ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は顧みますと、九州熊本地方の地震など悲しい出来事もありましたが、リオデジャネイロ・オリンピック/パラリンピックでの日本人選手の活躍など明るい話題もありました。北海道では、待望の北海道新幹線が開業し、今後の本道経済および産業の発展がますます期待されるところであります。また、北海道日本ハムファイターズが10年ぶりの日本一となった明るいニュースがあった一方で、本道へ上陸した3つの台風と低気圧からの前線による降雨で農地の浸水や道路などの損壊等、産業や生活基盤に甚大な被害が生じました。

本町では、日照不足や大雨、台風の影響により、主要作物は総じて減収と品質低下があるなど、6年ぶりに作況がすぐれない出来秋となりました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、今年は豊穰の秋になりますようお願いいたします。

昨年、厚真町120年を迎え、町民の皆さまと一緒に節目を祝い、先人の苦勞を讃え、本町のさらなる発展を誓ったと



ころであります。本町を取り巻く環境は、人口減少問題など多くの課題を抱えておりますが、「第4次厚真町総合計画」が策定され、本町の魅力を生かした特色あるまちづくりを進めていくためには、町議会の果たすべき役割はますます重要になっており、町政を取り巻く環境の変化を的確にとらえ、議員一人ひとりが不断の努力を重ね、町民の皆さまの信頼と付託に応えることのできる議会を目指して全力で取り組む決意でありますので、本年も相変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。お願いいたします。



厚和・浜厚真・清住
曾根 正勝 〇
厚和 ☎28-2625



フルーラル・
豊沢
小山内 敬子 〇
豊沢 ☎27-3880



本郷団地
幅田 利子 〇
本郷 ☎27-2265



幌内
小納谷 睦子 〇
幌内 ☎29-5154



豊丘・軽舞
大橋 正治 〇
軽舞 ☎28-2552



美里・豊川
阿部 清一 〇
豊川 ☎27-3643



幌里・幌里開拓・
厚真福祉施設
山田 喜代治 〇
幌里 ☎27-3546



富里・高丘・吉野
楠木 哲郎 〇
富里 ☎29-5245



鹿沼・鯉沼
山口 純子 〇
鹿沼 ☎42-4653



上野・豊沢・富野
五十嵐 桂子 〇
富野 ☎28-2460



東町・北町・南町
中川 信二 〇
錦町 ☎27-3959



桜丘・朝日
上田 俊行 〇
朝日 ☎27-3452



主任児童委員
野澤 政博 〇
新町 ☎27-3622



共和・共和・
共和団地
澤口 伸二 〇
共和 ☎28-2569



西町・表町団地・
南町
佐藤 忠美 〇
表町 ☎27-2028



東和・宇隆
得地 英子 〇
東和 ☎27-2163



主任児童委員
秋永 晴美 〇
富里 ☎29-5235



上厚真
高木 信成 〇
上厚真 ☎28-3613



新町
加藤 恵子 〇
新町 ☎27-3422



本郷・ともいきの里
當田 和子 〇
本郷 ☎27-2020

新しい 民生委員・児童委員 の皆さん

担当区域(自治会)
委員の顔写真
再任 〇
新任 〇
名前(敬称略) 住所 電話番号



任期満了により、全国一斉に民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行われ、平成28年12月1日付けで、本町の新しい委員20人が厚生労働大臣と北海道知事から委嘱を受けました。これから平成31年11月までの3年間を担当する委員の皆さんを紹介します。困りごとなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

- 民生委員・児童委員、主任児童委員とは何ですか？
民生委員は、民生委員法に基づき福祉分野の無給の奉仕者で、住民の立場に立つて相談援助を行います。町や北海道などに対して「協力機関」と位置付けられており、厚生労働大臣が委嘱します。
児童委員は、児童福祉法に基づいて妊産婦や児童を対象に情報提供などをする無給の奉仕者で、この法律で民生委員が兼ねるよう規定されています。
民生委員・児童委員は町内で担当区域を決めて活動することになっており、皆さんの身近な相談者といえます。
主任児童委員は、民生委員・児童委員のうち厚生労働大臣から指名された方で、区域を担当せず、児童福祉機関と民生委員・児童委員との連絡・調整をしたり、民生委員・児童委員を援助したりします。
- 具体的には何をやるのでしょうか？
民生委員・児童委員の活動内容は民生委員法に規定されている次の6点です。
①住民の生活状態を把握する。
②相談・助言・その他の援助を行う。
③福祉サービスを適切に利用するために必要な情報提供その他の援助を行う。
- 身分はどのようになっていますか？
民生委員・児童委員の身分は、仕事の内容から地方公務員とされ、現在は、北海道の特別職に属する地方公務員となっています。
職務の遂行にあたっては、個人の人格を尊重し、秘密を守り、いかなる差別も優先的な取り扱いきません。
- 組織はどのようになっていますか？
民生委員・児童委員は、民生委員法により民生委員児童委員協議会を組織することになっています(本町は民生委員協議会を組織しています)。
毎月一回定例会議を開き、地域の福祉問題の分析や担当している世帯への援助方法などを行います。
連合体を任意で作ることが可能で、現在、道庁民児協が、さらにその連合体として全国民生委員児童委員連合会が存在しています。
- ④ 社会福祉事業を経営する人(本町は町社会福祉協議会と密接に連携し、その事業や活動を支援する)。
⑤ 福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力する。
⑥ 住民の福祉増進を図るための活動を行う。



宮坂町長から感謝状を受け取る宮副さん

退任された6人に厚真町などから感謝状を贈る
平成28年11月30日をもって退任された方々に宮坂町長から北海道民生委員児童委員連盟、町などの感謝状が伝達・贈呈されました。

- 退任された方々
- 宮副 恵美子さん(錦町) 小納谷 順子さん(表町)
- 館山 睿さん(浜厚真) 佐々木 京子さん(京町)
- 伊東 悦子さん(共和) 大垣 裕子さん(豊沢)



議会

平成28年 第4回定例会

平成28年第4回定例会が12月5日から6日まで、2日間の会期で開催されました。審議されたのは、平成28年度厚真町一般会計補正予算など同意7件、諮問1件、議案20件、認定6件、報告2件、意見書案6件で、いずれも原案どおり可決されました。その主な内容と議員による一般質問についてお知らせします。

同意

◇厚真町教育委員会教育長の任命
厚真町教育委員会教育長に、遠藤秀明さん(宇降・59歳)が任命されました。

【遠藤教育長 プロフィール】
昭和32年6月3日厚真町生まれ。神奈川大学卒業。昭和57年に厚真町職員となり、産業経済課参事、生涯学習課長、総務課長を歴任。



◇厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任命
厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員に、次の5人が選任されました。

- 再今村陽子さん(鹿沼・61歳)
 - 再櫻井裕子さん(表町・40歳)
 - 新石橋公昭さん(宇降・54歳)
 - 新佐藤耕一さん(上厚真・50歳)
 - 新日西大介さん(高丘・35歳)
- ◇厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任
厚真町固定資産評価審査委員会委員に、大山一樹さん(上厚真・43歳)が再任されました。

諮問

◇人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員の候補者として谷内朱美さん(高丘・56歳)が推薦されました。

議案

◇厚真町農業委員会委員定数条例の全部改正
農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会委員の「公選制」が「議会の同意を要件とする市町村の任命制」に改められました。これに伴い、委員の定数を条例で定める必要があるため、厚真町農業委員会委員の定数を18人に変更する等条例が改正されました。

◇厚真町情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正
厚真町情報公開・個人情報保護審査会委員の任期が2年から3年に改正されました。

◇厚真町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

◇厚真町高齢者生活福祉センター条例の一部改正

◇厚真町介護保険条例の一部改正
富里地区浄水場・配水池建設工事請負契約の変更

◇指定管理者の指定
厚真町交流促進センター(こぶしの湯あつま)の指定管理者に、株式会社あつまスタンプ会(藤井隆之代表取締役)が指定されました。
■指定期間
平成29年4月1日～平成30年3月31日



こぶしの湯あつま

◇定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結
障がい者福祉について、東胆振圏で連携し、苫小牧市に拠点センターを設置するよう協定の一部を変更しました。

◇東胆振広域圏振興協議会の廃止

◇町道路線の認定
次の2路線が町道に認定されました。
①豊沢分家沢3号線
・起点 豊沢358番地1
・終点 豊沢344番地2
②軽舞生活会館通り線
・起点 軽舞331番地5
・終点 軽舞983番地

◇平成28年度厚真町一般会計補正予算(第10号)
平成28年度厚真町一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれ1億5,839万4千円が追加され、総額で64億1,855万7千円になりました。補正された主なものは次のとおりです。
・機能訓練・筋力向上トレーニング事業委託料 : 1,007万円
・高齢者等の冬の生活支援金 : 110万円
・臨時福祉給付金(経済対策分)給

- 付金事業 : 1,350万円
- 小規模多機能型居住介護事業所運営事業 : 527万4千円
- 後期高齢者医療費 : 839万2千円
- 妊産婦通院費補助金 : 39万6千円
- 商工業振興事業補助金 : 250万円
- 職員手当等費 : 1,100万円
- 林業施設災害復旧事業 : 2,167万1千円
- 農業施設災害復旧事業 : 551万5千円
- 公共土木施設災害復旧事業(単独災) : 600万円
- 公共土木施設災害復旧事業(補助) : 9,801万円

- 平成28年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
平成28年度簡易水道事業特別会計予算(保健事業勘定予算)は、歳入、歳出それぞれ5,692万円が追加され、総額で25億2,305万2千円になりました。
- 平成28年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
富里地区配水池内配管布設工事請負契約の締結
- 厚真地区配水管布設工事(1工区)請負契約の締結
- 厚真地区配水管布設工事(2工区)請負契約の締結



大雨による災害

◇平成28年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
平成28年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
平成28年度後期高齢者医療特別会計予算は、歳入、歳出それぞれ2億1,555万5千円が追加され、総額で7,425万5千円になりました。

◇平成28年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(保険事業勘定補正予算(第2号))

認定

◇平成27年度厚真町各会計歳入歳出決算の認定
決算審査特別委員会(大捕孝吉委員長)に付託されていた平成27年度の厚真町一般会計および国民健康保険事業をはじめとする5特別会計歳入歳出決算について、委員長から報告が行われ、本議会で認定されました。

◇所管事務調査報告(各常任委員会)
総務文教常任委員会および産業

意見

◇国による子ども医療費無料制度

の創設を求める意見書

◇「全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律」の早期制定を求める意見書

◇国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書

◇厚真川河川改修事業促進に関する意見書

◇大雨災害に関する意見書

◇JR北海道への経営支援を求める意見書

一般質問

森田正樹議員
・運転免許自主返納について
井上次男議員
・宮の森子ども園および厚南児童会館等の防犯対策について
・英語圏地域での修学旅行実施に向けての現況および実現の可否について

伊藤富志夫議員
・福祉施設の人材確保について
・気象警報発令時の登下校対応について

高田芳和議員
・新たな国民健康保険制度について

・嘱託職員の処遇改善について
・下司義之議員
・役場庁舎建て替えおよび周辺環境整備
・町のイメージ戦略
・臨時職員の職務と責任と給与
・かしわ運動公園の指定管理

町長行政報告

◇苦小牧信用金庫との「地域結婚支援事業」の連携に関する協定の締結について

去る11月22日、本町は苦小牧信用金庫と「地域結婚支援事業」の連携に関する協定を締結いたしました。

現在、本町においても人口減少に伴う地域社会の活力の低下が懸念されており、その人口減少問題の大きな要因のひとつでもある未婚化、晩婚化による出生率の低下は、社会的にも非常に深刻な問題であります。

同信用金庫では、少子化問題の解決に向けた地域貢献事業の一環として、平成25年6月に「とましん結婚相談所」(LBB)ラブラブブライダル(会)を開設し、営業区域内の独身男女に対し出会いの場を創出する事業に取り組み、これまで23組の結婚成立に繋がっているところであり、

本町では、昨年10月に厚真町まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略を策定し、人口減少問題の克服をはじめとする地方創生の実現に向け、各取組を推進しておりますが、このたびの協定締結を契機として、本町と同信用金庫とが結婚支援を連携協力して推進し、戦略の目標のひとつである「ひとが輝くあつま」の達成に向けて、若い世代の社交の場づくりと本人の意向を尊重した結婚を支援してまいります。



「地域結婚支援事業」の連携に関する協定の締結式

◇農作物の作柄状況について

今年の2～3月は一時寒い時期もありましたが、全般的に気温は高く、降雪量は少なく、日照時間も多かったことから、融雪期は平年と比べ11日早い3月10日となりました。春の訪れが早く、穏やかな気象経過のもと、春作業はおおむね好天に恵まれ、順調に経過しておりますが、畑作物の収穫が終わったあとこの度重なる強風や、水稲の移植あとの低温、日照不足などにより、ほぼすべての作物の生育が停滞しました。その結果、多くの作物で収量、品質とも、平年並から下回る結果となりました。

日照不足や大雨、台風などの被害により、主要作物は総じて減収と品質低下があるなど、6年ぶりに作柄がすくれない出来秋となりました。

また、農業施設被害につきましても、先の定例会において補正予算計上した農業施設の災害復旧事業により復旧を図っているところですが、多面的機能支払事業との調整や新たな被害箇所が出てきたことにより事業費が増加しており、被害全体では、農地が10件、用排水・井堰が36件、農道が6件で、被害金額は約22,000千円となる見込みであります。

このことから、被災農業者の農業経営の安定を図るため、本定例会におきまして、農業施設災害復旧事業の追加および農業災害関係資金利子助成について提案をしております。

被災した皆さまには、心よりお見舞いを申し上げますとともに、来年度の営農に支障を来すことがないよう、関係機関と連携を密にし、農業施設災害復旧事業等に取り組みまいります。

◇建設工事の進捗状況について

北海道開発局室蘭開発建設部で進めております、国営かんがい排水事業は、厚幌導水路や豊川用水路の工事を行っており、3月下旬の完成予定で現在の進捗率は40%であります。

次に胆振総合振興局室蘭建設管理部所管の建設工事については、道道北進平取線は、厚真ダム広場付近の改良工事を行っており、2月末の完成予定で進捗率は50%であります。

道道上幌内早来停車場線は、厚真川の河川改修工事に合せて幌内橋の架け換え工事を行っており、3月下旬の完成予定で進捗率は55%であります。

道道厚真浜厚真停車場線の上厚真市街地区から日高自動車道厚真インターチェンジまでの改良工事は、本工事が行われておらず用地買収を進めております。

河川改修工事につきましては、厚真川は富里の第3区頭首工上流から幌内橋にかけて河道掘削、

築堤盛土、護岸工等の施工を行っており、3月下旬完成予定で進捗率は60%であります。

入鹿川は、JR橋の架け替えの協議を進めております。厚幌ダム建設事業につきましても、平成30年3月完成を目指して北海道が事業主体で工事が進められておりましたが、絶滅のおそれのある野生動物が確認されたため、工事を一時中断したことから、現在までのダムの進捗状況は堤体打設が完了し、現在は、地すべり対策工事を行っております。平成29年以降は天端高欄や舗装などの付帯設備や通信設備等が進められます。道道上幌内早来停車場線および町道等の付替道路工事の進捗率は46%であります。胆振総合振興局産業振興部所管の道道は場整備事業については、東和、豊沢、豊共第一、豊共第二地区の4地区の整備工事を行っており1月中旬には全て完成予定となっております。

次に町の道路事業については、新町フォーラム線ほか3路線と橋梁の補修工事は、完成しております。幌内沢線の擁壁補修工事は11月末に発注しており3月末の完成であります。

公園整備事業につきましては、新町公園整備工事、ルーラル通りの森公園整備工事は完成しております。

災害復旧工事につきましては、公共土木災害復旧事業および林道施設災害復旧事業は国の災害査定が終了し、今後、工事の発注に向け準備を進めております。



子育て支援住宅

建築工事につきましては、公営住宅や町有住宅の改修工事、上厚真きらりタウンの子育て支援住宅建設工事の5棟は完成しております。厚真中学校校舎大規模改修工事は1月末完成予定で進捗率90%であり、本町の小規模多機能型居宅介護施設工事は1月末完了予定で進捗率は50%であります。

簡易水道事業につきましては、本郷地区、共栄地区配水管布設替工事は完成しております。統合簡易水道事業は、富里地区浄水場の配水池築造工事は2月末完成予定で進捗率は80%であり、浄水場の機械・電気工事は平成30年2月末完成予定で進捗率は20%であります。

公共下水道事業につきましては、浄化槽市町村整備工事は、浄化槽設置予定25基の内23基が完成しており、進捗率は92%であります。

林道専用道開設事業につきましては、幌里子ヶヶ川線ほか2路線の林道専用道の工事は1月末の完成予定で進捗率は30%であります。

あつまで
I LOVE ATSUMA
いきる。

本郷
山野下 明音さん (14歳)

「詩舞で念願の日本一」に



昨年8月に千葉県で開催された日本コロムビア全国剣詩舞コンクール全国決勝大会の「第一部(詩舞)幼少年の部」で優勝を果たした山野下明音さん。扇子を使い詩吟に合せ舞う「詩舞」。保育園の年長の時に厚南会館で開催された文化祭の吟舞を見て「格好いい」と思い、6歳の時に聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部に所属した。

山野下さんが全国大会に出場したのは、今回が3回目。一昨年から大会で舞う曲に「峨眉山月(がびさんげつ)の歌」を使用し出場している。昨年は惜しくも地区予選で敗れたが、この曲を自分のものとして完成させて挑戦したいという山野下さんの強い思いで、同じ曲を使用し、大会に挑んだ。

全国大会前日は宿泊先のホテルで、先生に夜遅くまで指導してもらったという。

「全国大会では予定より早く曲がかかり、出だしが遅れ頭が真っ白になりました。気が付いたら中盤になって…後半は、

気持ちを切り替えて自分のやりたいように踊りました」と大会の様子を語る。納得いく踊りができず、直後に悔しくて涙が出ました。だから名前を呼ばれた時は聞き間違えかと思いましたが、神奈川県に住んでいる祖母やひいおばあちゃんなど親せきが応援に駆け付けてくれて、みんな喜んでくれました」と優勝を振り返る。

山野下さんは、厚真中学校2年生で吹奏楽部に所属している。また書道教室にも通っており、さまざまな分野で活動している。

「それぞれ、その時その時の目標を立て、その目標に向かって毎日練習や勉強に取り組みんでいます。間にマンガや小説を読んだり、息抜きをしています」という。

「今は、いろんなことにチャレンジして、一つひとつ達成していけたら。高校生になっても吹奏楽も吟舞も続けたいです」と笑顔を見せる。

入札参加資格審査申請書の受付をします

平成29・30年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。

なお、建設業以外の物品等販売指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出を特に必要としません。



- 提出書類
入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績や誓約書など指定の添付書類
- 有効期限
平成29・30年度の2年間
- 受付期間
平成29年2月1日(水)～平成29年2月28日(火)
(土、日曜日、祝日を除く)
- 受付時間
午前9時～正午、午後1時～午後5時

問い合わせ 総務課財政グループ ☎ 27-2481

高校生の通学費等を助成します

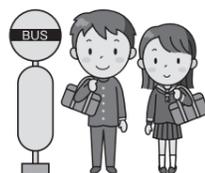
町外の高校に通学する生徒の保護者に対して、通学費等の一部を助成します。

○対象 町外の高校(高等専門学校は1年生から3年生まで)へ通学または下宿等をしている生徒の保護者の方(町内在住に限る)

○助成内容 月額5,000円分を厚真町子育て支援医療費等還元事業ポイントで還元します。今回は、平成28年10月から平成29年3月の5カ月分(1月を除く)を次の日程で受付します。

○受付 3月6日(月)～3月24日(金)

○必要書類 ・高校生が通学している学校が発行した在学証明書(発行日が3月中のもの)
・厚真町子育て支援カード(カードが無い方は、カード作成に对象のお子様の保険証等と保護者の方の印鑑が必要となります。)
※ポイントを金券に交換する場合は、印鑑をご持参ください。



厚真町子育て支援カード

申請・問い合わせ 町民福祉課 子育て支援グループ (総合ケアセンターゆくり内) ☎ 26-7871

住基カードの電子証明書の有効期限が満了となる方はマイナンバーカードに切り替えを

マイナンバー制度の開始により、住基カードおよび住基カードに格納する公的個人認証サービスの電子証明書の交付は、昨年で終了しています。

すでにお持ちの住基カードの公的個人認証サービスの電子証明書は、有効期限満了までご利用いただけますが、電子証明書が有効期限満了となった場合は、マイナンバーカードへの切り替えが必要です。

マイナンバーカードの交付の申し込みが集中した場合、カードの作成に1カ月以上の期間が必要となる場合があるため、交付が遅れる場合があります。

また、マイナンバーカードは、制度上、即日の交付ができません。

確定申告を電子申請(e-Tax)で行う予定がある方で、住基カードの公的個人認証サービスの電子証明書の有効期限満了を迎える方は、お早目にマイナンバーカードに切り替えをお願いします。

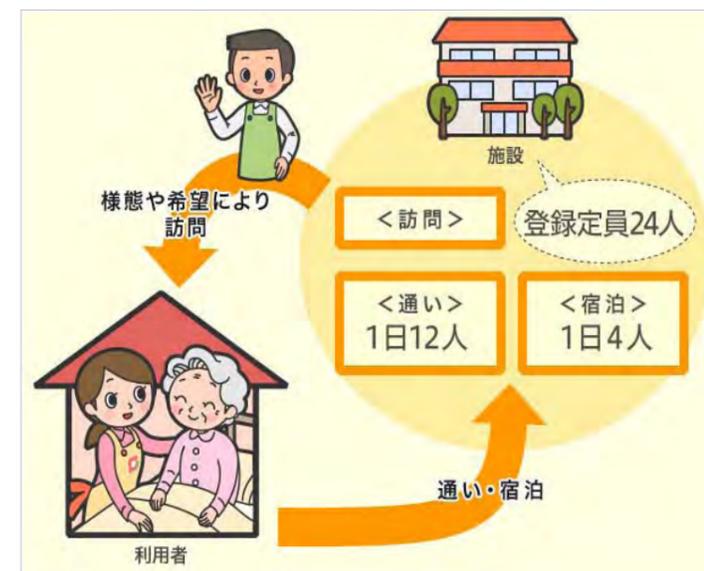


問い合わせ 町民福祉課 町民生活グループ (総合ケアセンターゆくり内) ☎ 26-7871

小規模多機能ホーム「ほんごう」が2月1日オープンします！

ご自宅で在宅介護を受けながら安心して暮らし続けられるよう、24時間型介護サービスを提供する小規模多機能型居宅介護事業所をオープンします。

現在のデイサービスセンター「ほんごう」(本郷236番地の6)は、従来からある「通いサービス」に、新しく「訪問サービス」と「宿泊サービス」の2つのサービスを加え、小規模多機能ホーム「ほんごう」に生まれ変わります。



小規模多機能ホーム「ほんごう」の特色

- ①ご利用者の不安を和らげるため、いつも顔なじみのスタッフが対応します。また、ご利用者の心身状態や家庭の事情などに対応したケアが受けられます。
- ②ご利用者の身体状況に応じ、ケアマネジャーと相談の上、通い・泊まり・訪問といったサービスを組み合わせたケアを受けることができます。

ご利用までの流れ

- ①町へ要支援・要介護認定申請を行い、要支援1・2または要介護1～5の認定を受けます。
- ②厚真町社会福祉協議会とサービス利用契約を締結します。
- ③小規模多機能ホーム「ほんごう」のケアマネジャーが、ご本人・ご家族と話し合いの上でケアプランを作成します。
- ④ケアプランに基づき、サービスが提供されます。

ご利用料金

【介護保険自己負担分(1割負担の場合)】

要支援・要介護度	自己負担分
要支援1	3,403円/月
要支援2	6,877円/月
要介護1	10,320円/月
要介護2	15,167円/月
要介護3	22,062円/月
要介護4	24,350円/月
要介護5	26,849円/月

※利用者の状況等により各種加算料金がかかります。
※2割負担の場合は、左記の料金の2倍になります。

【介護保険自己負担分以外の費用】

- 宿泊費:1,500円(1泊につき)
- 食費:朝食400円・昼食500円・夕食500円(各1食につき)
- 実費:おむつ費等の実費がかかる場合があります。

問い合わせ 町民福祉課福祉グループ (総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7872
町社会福祉協議会 (同上) ☎26-7501

8日

事故や犯罪に注意 交通安全・防犯町民集会

町と町交通安全推進委員会、町交通安全協会、町防犯協会による『平成28年度交通安全・防犯町民集会』が総合福祉センターで行われ、自治会や事業所、関係団体などから約70人が参加しました。

集会では、苫小牧警察署員から高齢者の事故防止についてや巧妙化している振り込め詐欺などの特殊詐欺の手口、被害防止策などについての講話があり、歳末に向けた交通事故防止や犯罪被害防止を訴えていました。



高齢者の交通事故について話す
苫小牧警察署員

9日

いざという時のために！ 豊川自主防災組織がHUGを実施

豊川地区で平成26年12月に結成された豊川自主防災組織(佐々木建治代表)が厚真町版HUG(避難所運営ゲーム)を使った防災の研修会を豊川生活会館で実施しました。

この研修会は同地区に住み、道地域防災マスターである阿部清一さん(67歳)の提案により初開催。参加者からは「災害に備え日頃からできることを把握したり、近所の交流が大切だと感じた」などの感想が出ていました。



厚真町版HUGを進める阿部さん(右)

15日

種部健一さん(豊丘)が 森林づくりコンクールで優秀賞に

平成28年度ほっかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクール(カラマツ部門)で、種部健一さん(豊丘・68歳)が優秀賞を受賞。胆振総合振興局の大堀尚己森林室長が役場を訪れ、種部さんに表彰状を伝達しました。

種部さんは農業の傍ら、カラマツ林の育成をはじめ、農家林業家の後継者育成に積極的に取り組んでいます。種部さんは「もっと山の魅力を伝え、関心を持ってほしい」と抱負を述べていました。



賞状を手にする種部さん

19日

兼本海音さん(厚南中3年生)が 社会を明るくする運動の作文で入賞

法務省主催の第66回社会を明るくする運動札幌地方推進委員会の作文コンテストで、厚南中学校3年生の兼本海音さん(15歳)が優秀賞を受賞し、厚南中学校校長室で苫小牧地区保護司会の中澤正之会長から表彰状が伝達されました。札幌管内1,797点の応募の中から選出。

兼本さんは部活動で左足のじん帯を損傷し、松葉づえを使った生活を通して身近なバリアフリーを考えるようになりました。「今ある社会の制度を知ってもらおうきっかけになれば」と感想を述べていました。



賞状と記念品を受け取る兼本さん(右)

1日

ムダなくエコ 歳末チャリティ即売会

町コミュニティ運動推進協議会(山下昌秀会長)の「歳末チャリティ即売会」が、総合福祉センターで行われました。会場には町民から寄付された衣類や小物、食器など約1,200点が並べられ、来場者は気に入った商品の一つひとつ手に取りながら品定めをしていました。

山下会長は「今年は昨年を超える出品や来場者となりました。例年同様多くの収益を寄付することができ感謝しています」と話していました。

この日の売り上げ45,251円は北海道共同募金会に全額寄附されました。



掘り出し物に出会うかも

1日

年の瀬に笑顔満開 恒例のチャリティ演芸大会

年末恒例の町婦人団体協議会(藤本昭子会長)による「第40回歳末助け合いチャリティ演芸大会」が総合福祉センターで行われ、多くの来場者がステージを楽しみました。

今年は約20組の個人やサークル、団体などが歌や踊りなどを披露し、会場から声援と拍手を受けていました。このイベントの益金は、厚真町社会福祉協議会に寄付されました。



あゆみ会が日本舞踊を披露

1日

岩倉建設株式会社に 町観光協会が感謝状を贈呈

町観光協会(池川徹会長)主催の田んぼのオーナー事業で現地駐車場の使用と交通整理を行った岩倉建設株式会社(宮崎英樹代表取締役社長)に町観光協会が感謝状を贈呈しました。

観光協会で池川徹会長から感謝状を受け取った同社の大田利宏常務取締役は「地域のお役に立てて嬉しいです」と感想を述べていました。



感謝状を受け取る大田常務取締役(左)

2日

本場のお笑いを堪能 爆笑師走あつま寄席

町教育委員会主催の「爆笑師走あつま寄席」が総合福祉センターで開催され、落語家の桂きん枝さん、桂勢朝さん、桂佐ん吉さんが落語を披露しました。

笑いの本場である関西の上方落語の話芸に、会場は大きな笑い声に包まれていました。



来場者も参加しての上方落語入門講座



▲職場体験学習

▼歳末チャリティ演芸大会



3年生もいよいよ学校生活終盤です

厚真高校は、12月23日から冬季休業に入り、1月17日から始業となります。3年生については、2月1日から「家庭学習期間」となるため、実際のところ厚高での学校生活もあとわずかとなりました。

今年度も厚高の3年生の進路状況は良好であります。現在のところ、進学者が8人(各種専門学校)、就職内定者が17人となっております。昨年同様、それぞれの生徒が自分の進路実現を達成できている状況にあります。残る数名もこの後、良い結果が待っていると思っております。例年、就職先の関係者の皆様には高い評価をいただいております。卒業生たちも厚高の3年間で学んだことや身に付けたことをいかして頑張っていることを聞いています。これからも地域や関係者の皆様に期待され評価される学校でありつづけるよう、生徒・教員ともに頑張っていきたいと思っております。

高校はその後、平成29年度の入学試験準備が始まってきました。来年度はより多くの新入生を期待してまいります。今度も厚高をよろしくお祈りいたします。

厚真町 地域おこし 協力隊		地域おこし協力隊 農業支援員 かたくら ひろき 片倉 拓紀さん (44歳)
		着任 平成28年6月(1年目) 出身地 帯広市 活動内容 農家さんのお手伝いをして、農業の勉強をしています。
file.06		

>普段どんな活動をしていますか？
さまざまな農家に研修へ行っています。土いじりは大変ですがとても楽しく、驚きの連続です。実際、農作業を学ぶうちに、豪快さと繊細さを備えた作業だと感じます。農業を実践していくうちにかぼちゃの作業工程にひかれました。目に見えて大きくなっていくことが嬉しいです。

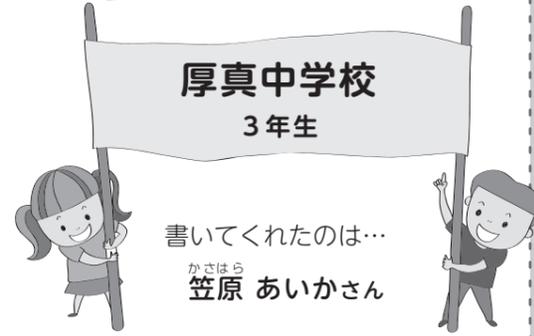
>厚真町のみなさんに一言
厚真町は優しい方が多く、右も左もわからない自分を助けてくださいます。少しでも恩返しできるような、そして皆さんとより親しくなるためにも町の行事に顔を出したいと思っていますので、その際はよろしくお祈りいたします。

>今後の予定は？
冬は図書室で知識を身につけたいです。1年目で育てたい作物を見つけ、2年目で実践し、3年目は就農へ向けて取りかかるのが目標です。いつか有機栽培にも挑戦したいと思っています。
将来的には、ハスカップとかぼちゃをメインに畑を持ちたいです。



ハスカップの枝のせん定を勉強中!

クラスじまん!



厚真中学校
3年生

書いてくれたのは…
かさばら 笠原 あいかさん

私たち3年生は負けず嫌いで、にぎやかなクラスです。普段の生活から小さなことで笑い合っています。15人という、1・2年生と比べて少ない人数ですが、少ない人数なりの団結力があります。そして私たちが、最も団結力を発揮できるものが合唱です。合唱は厚真中学校の伝統であり、私たちのプライドです。合唱の大好きな私たちは、毎日放課後に練習します。たくさんレパートリーを増やしなが、行事のたびに発表を繰り返して

きました。そして今年、フリー参加ながら、「NHK全国音楽コンクール室蘭地区大会」にも出場しました。また、学校祭で行われた合唱コンクールでも、難易度の高い曲に挑戦し、後輩や聴いてくださるたくさんの方々から「素晴らしい」「感動した」という感想をいただきました。残り3カ月という短い期間ですが、今まで以上に合唱をはじめ、後輩たちに残せるものを作っていきたいと思っております。





上厚真小学校1年
新谷 龍之介くん (7歳)

紙皿と紙コップでコロコロ転がす作品を作りました。銀色の折り紙を上手に貼れました。



ぼくのわたしの
作品
紹介



上厚真小学校1年
三上 あむさん (7歳)

折り紙でアサガオやセミを作っていました。セミを折るのが難しかったです。

短歌 居住まるを正して歌など詠まむとす思い浮かばずペンを置くなり (上野 宮崎 静恵)
息子の許に移りて新年迎へたる友への年賀こころして書く (新町 金本 年子)

新春に願ひこめて初除雪もっと遠くにさらに遠くへ (新町 徳地 美登)
あつま芸友の会発行「文芸あつま 第二十一号」から抜粋

今月の担当



保健師
うちむら
内村 彩華

新たな1年!! 出会いを大切に、マラソン・サーフィン・パレー・登山...とアクティブに過ごしたいです♪

健康情報

今年こそやるぞ!! 健康ダイエット
~早めに正月太りを解消しましょう~

2016年は、ファイターの日本一・コンサドーレのJ1昇格など、道内で明るいニュースが続きましたね。「今年こそ」というフレーズをよく耳にしましたが、もともと太っている方も、年末年始の暴飲暴食で体重が増えた方も「今年こそ」健康的に減量に取り組み、健康な体を手に入れましょう。

肥満は病気につながる

肥満とは、体の中に余分な脂肪がついた状態で、BMIが25以上の場合をいいます。特に、内臓脂肪型(りんご型)肥満は高血圧や糖尿病、脂質異常症、痛風などの病気を発症しやすく、動脈硬化を早めて心筋梗塞や脳梗塞につながる危険があります。しかし、内臓脂肪は減量することで減るといった特徴があります。減量の目安を参考に、ゆとり減量に取り組みましょう。

BMIの算出方法
体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

減量の目安
6カ月で3~5%減(今の体重×0.03~0.05kg減)

- ① 間食(甘い物)
間食でお菓子などの甘い物をとったり、体に良いからと大量の果物を食べたりしている方は、間食をやめるだけで減量目標を達成できることが少なくありません。量や回数を抑えたり、カロリー表示に注意するなど工夫してみてください。
- ② お酒
お酒を飲みすぎたり、からあげなどの脂っこいおつまみをとったりすると、太りやすくなります。週に2日は休肝日を設け、おつまみには枝豆や豆腐など低エネルギーの食品を選びましょう。

低エネルギー



- ③ 夜9時以降は食べない
脂肪の合成を促すたんぱく質は深夜に分泌が急増するので、夜遅くに食べると太りやすくなります。寝る前2時間は食べないことが一番ですが、どうしても夜遅くなるときは、夕方ごろに軽く食べておき、遅い時間にはできるだけ

体重はできれば毎日測りましょう

起床時より寝る前の方が1kgくらい増えますが、翌日には戻るのが普通です。体重を記録できる用紙もありますので、活用したい方は保健師にお声かけください。



健康ダイエットのポイント
1 「余分に食べる」「きつかけ」を減らす

- ① 朝食を食べる
朝食を抜くと、体が本来もっている体内リズムが乱れ、太りやすくなります。また、昼食で食べすぎてしまえば、朝はバナナ1本だけでもとりましょう。炭水化物とたんぱく質を併せると代謝が高まるので、ご飯と卵、パンとチーズなどを組み合わせるとより良いでしょう。
- ② 夕食を食べ過ぎない
夜にまとめ食いをすると、食べたものが脂肪としてため込まれやすくなります。また、3食の量のバランスが悪いと太りやすくなります。3食規則正しく、量をほぼ均等にしておきましょう。

健康ダイエットのポイント
2 「太りやすい食べ方」を見直す

- ④ よく噛んで
量は控えるようにしよう。脳は食べ始めて20分くらいたつと、満腹指令を出して食べるのにストップをかける。食べる速度が速いと、指令を出すまでに必要以上に食べてしまいます。食べる速度が遅い人は、いつもの倍くらいの時間をかけ、よく噛んで食べることで、自然と食べる量を減らすことができます。
- ⑤ もつたない精神を捨てる
余った料理が目前にあると食べたくなるので、食後はすぐに冷蔵庫に入れるか、思いきって処分しましょう。また、適量を考え、作りすぎないようにしましょう。

ぼうさいコラム

Disaster Management Column

Vol. 22

防災訓練と厚南中学校での授業に関わって



津波についての講話では多くの質問が寄せられました



ゆき
定池 祐季
東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター(CIDIR)
特任助教

剣淵町出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士(文学)。北海道大学助教を経て現職。専門は、災害社会学・防災教育。北海道南西沖地震を奥尻島で経験、災害復興と地域防災に関する研究に取り組むほか、各地で防災教育活動を展開している。2014年より厚真町防災アドバイザー。

あけましておめでとうございませす。2017年も、どうぞよろしくお願いたします。
11月30日、厚南・共和団地・浜厚真自治会を対象とした防災訓練が実施されました。私は厚南会館で津波に関するお話しをしたのですが、多岐にわたるご質問をいただく中で、参加された方々の熱心さを感じました。また、北海道が認定する、町内の「地域防災マスター」には、モニターとして各地の様子を見ていただきました。厚真町の海は、夏はサーファーの方々などでもにぎわいます。町で暮らす方々と、町に遊びに来る方々が無事に避難できるにはどうしたらよいか、これからも考えていきたいと思っています。
12月10日(土)には、厚南中学校全校生徒を対象とした防災授業を

実施しました。授業では、10月に実施した厚真中学校と同様に、厚真町版HUGのカード1枚(一家族の避難所での過ごし方)についてグループごとに考えてもらいました。生徒のみなさんは悩みながらも、高学年が上手にリードしてくれながら、自分たちなりの考えをまとめ、発表してくれました。
災害時には「正解」がなく、みんなが答えを「作り上げる」場面が多く出てきます。厚真の子たちにはそれができる力があると感じました。

>> 火山の噴火警戒レベル

日本には現在110の活火山があり、そのうちの50火山で火山活動を24時間体制で常時観測・監視しています。胆振地方の有珠山・樽前山・倶多楽も常時観測火山で、噴火警戒レベルを運用しています。

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に応じた「警戒が必要な範囲」を踏まえて、主に火山周辺の防災機関や住民等のとるべき行動を5段階に区分した指標で、それぞれのレベルのキーワードが基本的な防災対応となっており、レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」です。取るべき行動は、気象庁ホームページなどで確認してください。

また、火山が噴火した時は火山灰が降ることがあります。気象庁では降灰予報を発表して、降灰の範囲や降灰の始まる時間、降灰量などをお知らせしますので、火山灰が目に入らないように、また吸い込まないようにゴーグルやマスクなどによる防護や、外出を控えるなどの行動をとってください。



▲胆振地方の火山

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249

気象台ノート





日曜・祝日当番医 2月

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
5日(日)	内科系	苫都病院	若草町5-10-21	34-2135
	外科系	にっしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100
11日(土祝)	内科系	東病院	明野新町5-1-30	55-8811
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000
12日(日)	内科系	桜木ファミリークリニック	桜木町2-25-1	71-2351
	外科系	同樹会病院	新中野町3-9-10	36-1221
19日(日)	内科系	とまこまいこどもクリニック	住吉町1-2-8	33-1050
	外科系	日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
26日(日)	内科系	いまい内科クリニック	双葉町1-4-2	37-8686
	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111

当番医のほかに
急病センターも診察を
受け付けています

苫小牧市夜間・休日急病センター
(内科・小児科のみ)

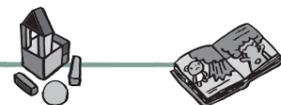
苫小牧市旭町2-9-2
☎0144-32-0099

曜日	受付時間
月～金	19:00～翌朝7:00
土	14:00～翌朝7:00
日・祝	9:00～翌朝7:00

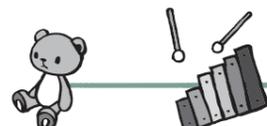
- ◆当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。
- ◆「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
(URL) <http://www.toma-med.or.jp> (携帯電話用URL) <http://www.toma-med.or.jp/phone>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

お知らせ

「北海道救急医療・広域災害情報システム」を利用して近くの医療機関などが検索できます。
○ホームページ <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
○電話 0120-20-8699 (携帯電話・PHSからは 011-221-8699)



子育て支援センター 2月のカレンダー



㊦ 厚真子育て支援センター ㊧ 厚南子育て支援センター

月	火	水	木	金
		1 自由開放	2 自由開放 子育て相談	3 自由開放
6 自由開放	7 自由開放 子育て相談	8 自由開放	9 自由開放 子育て相談 乳児検診	10 自由開放
13 自由開放 ㊧ せいごであそぼう ㊦ Hello せいご	14 自由開放 子育て相談	15 自由開放	16 自由開放 子育て相談	17 自由開放
20 自由開放	21 自由開放 子育て相談	22 自由開放	23 自由開放 子育て相談	24 自由開放 子育て講座 「すくすく教室」
27 自由開放 ㊧ せいごであそぼう ㊦ Hello せいご	28 自由開放 子育て相談	支援センターに「手作りおもちゃ」「手遊び」 など子育ての情報コーナーがあります。ぜひ お立ち寄りください。		

●子育て講座
「すくすく教室」

日時 24日(金) 9:15～11:15
場所 総合ケアセンターゆくり 2階調理室
内容 親子でお菓子作り
対象 町内在住の方
申込 2月17日(金)まで
持物 エプロン・三角巾(親子分)・おしぼり

●Hello せいご / せいごであそぼう

ALTの先生が来てくれます。厚真と厚南、
それぞれの子育て支援センターで行いま
す。関心のある方はどちらでもご参加いた
だけます。

時間 ㊧ 9:30～11:00
㊦ 10:30～11:30

●自由解放

時間 9:00～11:30、13:00～14:00

●子育て相談

時間 14:00～16:00
※事前連絡をお願いします。

予約・お問い合わせ

厚真子育て支援センター ☎27-2438 厚南子育て支援センター ☎28-3155
京町152 (こども園つみきに併設) 上厚真258-7 (宮の森こども園に併設)

問い合わせ先

町民福祉課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

乳児健診

対象 平成28年8月11日～11月9日生まれ
(3～6カ月)、または平成28年2月11
日～5月9日生まれ(9～12カ月)のお
子さん

とき 9日(木)

ところ 総合ケアセンターゆくり

受付 個別にご案内します

持ち物 母子健康手帳、バスタオル
※9～12カ月児のおさんは、歯科
相談も行います。歯ブラシをお持ち
ください。

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

対象 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
②平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれのお子
さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。

とき 20日(月)～24日(金) ※23日(木)午後は休診

ところ あつまクリニック

受付 接種希望当日に、役場町民福祉課で受付を行ってくだ
さい。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)

持ち物 母子健康手帳、印鑑

二種混合予防接種(ジフテリア・破傷風)

対象 小学6年生

とき 6日(月)、7日(火)

ところ あつまクリニック

受付 接種希望当日に、役場町民福祉課で受付を行ってくだ
さい。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)

持ち物 母子健康手帳、印鑑

定期予防接種

とき 毎週月曜～金曜 ※木曜日午後および祝日は休診です 持ち物 母子健康手帳、印鑑

受付 接種希望当日に、役場町民福祉課で受付を行ってください。
(受付時間…9:00～11:30、14:00～16:30) ※受付後、あつまクリニックで接種します。

予防接種名	対象	標準的な接種時期と接種間隔
ヒブ感染症(1) 小児肺炎球菌感染症(2) 予防接種	生後2カ月～60カ月未満 のお子さん	(1)・(2)共通…初回接種開始:生後2カ月～7カ月 (1)の追加接種…初回終了後、7～13カ月 (2)の追加接種…生後12カ月～15カ月 ※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
水痘(水ぼうそう) 予防接種	生後12カ月～36カ月未 満のお子さん	初回接種:初回接種(1回):生後12カ月～15カ月 追加接種:追加接種(1回):初回接種後6カ月～12カ月後 ※既に罹患済の児および既定の回数を接種済みの場合は、対象外 ※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風 百日咳・ポリオ)	生後3カ月～90カ月未 満のお子さん	初回接種:生後3カ月～12カ月に20日～56日の間隔で3回 追加接種:初回接種終了後から12カ月～18カ月後に1回 ※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。 ※三種混合予防接種を終了されていない場合は、町保健師にご相 談ください。
小児マヒ(ポリオ) 予防不活化ワクチン接種	生後3カ月～90カ月未 満のお子さん および追加に該当するお 子さん	生後3カ月～12カ月 ※生ポリオワクチンをすでに2回受けている方は、接種の必要は ありません。 ※できるだけ標準的な接種年齢の間で接種をお受けください。 ※不明な点がございましたら、町保健師にご相談ください。 ●事前予約が必要です(接種希望日の1週間前まで、電話可) 予約先:役場町民福祉課健康推進グループ(☎26-7871)
日本脳炎予防接種	3歳～20歳未満の方	1期初回:3歳で2回(6～28日の間をあけて) 1期追加:4歳(初回終了後おおむね1年後) 2期:9歳 ※上記以外でも、20歳未満の場合特例で接種ができます。詳しく は、町保健師にお問い合わせください。
【10月1日から定期化】 B型肝炎予防接種	生後2カ月～1歳未満の お子さん ※平成28年4月1日以降 に生まれたお子さん	27日以上の間隔をあけて2回、さらに1回目から20週以上の間 隔をあけて1回(合計3回) ※対象者以外で接種される場合は任意接種(全額自己負担)となり ます。



放課後児童クラブ(学童保育)

平成29年度4月から「放課後児童クラブ」(学童保育)を希望する児童を募集します。

○対象児童
小学校1年生～6年生
※なお、平成28年度に在籍しているお子さんも申し込みが必要です。

○募集期間
1月10日(火)～2月10日(金)

○放課後児童クラブ開設時間
小学校の授業日
下校時～午後6時30分
土曜日、学校休業日
午前8時30分～午後6時30分

○放課後児童クラブ利用料金
1カ月1,000円/1人

○受付場所
各小学校を通じて申込書を配布しますので、記入・捺印の上、教育委員会社会教育グループまたは役場上厚真支所に提出してください。

申し込み・問い合わせ
生涯学習課 社会教育グループ ☎27-2495

こども園

平成29年度4月から「こども園つみき」と「宮の森こども園」に新たに入園を希望する園児を募集します。

○募集期間
1月10日(火)～2月3日(金)

○対象児童
《長時間保育》
入園できる児童は、生後6か月児から就学前まで、両親いずれもが次のいずれかの事情にある場合です。
①保護者が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
②保護者が家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
③親が病気、負傷、心身に障がいがあり、出産前後であるので、その児童の保育ができない場合。
④その児童の家庭に長期にわたる病人や心身に障がいのある人がいるため、親がいつもその看護にあたっており、その児童の保育ができない場合。
⑤火災や風水害、地震などの不幸があり、その家屋を失ったり破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。
※そのほかの事情で入園を希望する場合は、お問い合わせください。

《短時間保育》
入園対象は3・4・5歳児(平成29年4月1日現在)で、子どもに幼児教育をさせたいなどの希望者で、入園の資格は特にありません。

○募集人数
各こども園 20人程度

○提出書類
入園申請書、雇用証明書または証明願、アレルギーに関する調査表
※役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンターゆくり内)・各こども園・役場上厚真支所にあります。
※園児の面談および入園説明会などは、入園決定後、各こども園で行います。
※継続入園の場合は、各こども園に継続入園申込書を提出してください。

申し込み・問い合わせ
町民福祉課子育て支援グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

2月4日(土)は冬の2大イベント!!!

会場 こぶしの湯あつま周辺

午後4時45分から

夢と希望の灯り2017光のページェント 第17回ランタン祭り

ランタン祭り実行委員会では、町民の皆さんや団体などのご支援をいただき「夢と希望の灯り2017光のページェント第17回ランタン祭り」を開催します。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。



- ランタン造形展示
- ランタン焼き
- ラーメン早食い競争
- 子ども滑り台
- じゃんけん大会

など

実行委員会からのお願い
ランタンの作製目標を5,000個としています。皆さんのご協力をお願いします。



問い合わせ

第17回ランタン祭り実行委員会 ☎29-7711
(厚真町観光協会)

午後6時30分から

スターフェスタ in あつま 第18回冬の花火大会・「酉」の干支文字焼き

町商工会青年部(寺坂 康生部長)では、「スターフェスタ2017 in あつま」を開催します。皆さんのご来場を心からお待ちしています。



- 花火大会(約2,000発)
- 干支文字焼き
- 厄払い豆まき・餅まき
- 樽酒、ココアの提供

など



詳細につきましては、1月下旬の新聞折り込みチラシをご覧ください。天候などにより、日時が変更になる場合があります。ご了承ください。

問い合わせ

厚真町商工会 ☎27-2456



地域結婚支援事業の連携について

平成28年11月22日に、厚真町と苫小牧信用金庫が地域結婚支援事業の連携に関する協定を締結しました。

厚真町

- ①少子化の抑制や地域経済の活性化につなげることを目的に、苫小牧信用金庫結婚相談所事業を連携して推進し、厚真町内における結婚の機運を高める
- ②結婚を望む厚真町内の独身男女に対し、出会いの機会を提供する事業への支援を通じて、安心して参加できるようサポート(後援、共催、協賛事業への協力)

苫小牧信用金庫

- ①「苫小牧信用金庫結婚相談所(LLB会)」登録活動強化
- ②LLB会登録相談窓口を強化
- ③インターネット、スマートフォンでの申込み促進



◀LLB会入会はこちらから(スマートフォン専用)



問い合わせ 苫小牧信用金庫LLB会事務局 ☎0144-56-5026
役場まちづくり推進課企画調整グループ ☎27-3179

北海道電力からのお願い

- この冬も引き続き「無理のない範囲での節電」にご協力をお願いいたします。
- 詳しくは、ほくでんホームページをご覧ください。

ほくでん節電 検索



平成29年「あつま新年交
礼会」を行います

厚真町内6団体が共催する、平成29年「あつま新年交礼会」を開催します。

日時 平成29年1月10日(火) 午後5時30分から

場所 総合福祉センター大集会室

会費 3,000円(当日会場受付でお支払いください)

申し込み 出席される方は、当日直接会場にお越しいただくか、事前に商工会までご連絡ください。

申し込み・問い合わせ 厚真町商工会(☎27-2456)

鳥インフルエンザにご注意ください

国内で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥と濃密に接触しない限り、通常では人に感染しないと考えられています。次の点について十分に注意して下さい。

・死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけた場合は、素手で触らないようにしましょう。

・鳥の排泄物等に触れた場合は、手洗いとうがいをしまし

よう。

水辺などに立ち寄って、野鳥のフンを踏んだ場合は、念のため靴底を洗いまししょう。

野鳥が死んでいるのを見つけたら、左記までご連絡ください。

問い合わせ 胆振総合振興局環境生活課(☎0143-24-9578) 役場産業経済課農政グループ(☎27-2419)

パソコン講習を行います

苫小牧地域職業訓練センターでは毎月、パソコン講習を行っています。

2月は初級者向け1コース(インターネットの検索とメール)、上級者向け3コース(エクセル2010で作る文書中級、アクセス2010を使って情報管理、ワード2級検定対策)の計4コースを実施予定です。

講習の日程・受講料など 詳しくは苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせ下さい。

問い合わせ 苫小牧地域職業訓練センター(☎0144-55-6622) (ホームページ)http://www.tomakomai.ac.jp/

確定申告会場開設期間等のお知らせ

苫小牧税務署では、次のとおり確定申告会場を開設します。申告書の作成には時間がかかりますので、なるべくお早めにお越しください。

確定申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」「確定申告に必要な書類」および「印鑑」をご持参ください。

なお、会場が混雑している場合には、受付を早めに締め切ることがあります。

確定申告会場 苫小牧市労働福祉センター2階(苫小牧市末広町1丁目15番7号)

開設期間 平成29年2月16日(木)～3月15日(水)(期間中の土・日曜日を除く)

※2月15日(水)以前は、確定申告会場を開設しておりません。確定申告のご相談は、申告会場をお越しください。

また、申告に関するご質問や必要な書類のご確認などは、お電話でも問い合わせることが出来ます。

受付時間 午前9時～午後4時

問い合わせ 苫小牧税務署(☎0144-3213165)

2月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。

Table with 2 columns: Time slots (10:30~11:00, 13:30~14:00, 15:30~16:00) and Dates (1日(水), 2日(木), 7日(火), 9日(木), 13日(月), 16日(木), 20日(月), 22日(水), 24日(金), 27日(月), 28日(火), 8日(水), 17日(金), 15日(水), 23日(木))

※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

問い合わせ

(一社)苫小牧地区交通安全協会 ☎0144-33-1458

マチの善意

あつまくんが行く!!



あつまくん in チャリティ演芸大会



12月1日に総合福祉センターで開催されたチャリティ演芸大会に出演したまる! 大勢の前で緊張したけど、楽しかったまる!

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に「図書カード」をプレゼントします。

一もんだいー

厚真町に民生委員・児童委員は 何人いるでしょう?



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報で取り上げてほしい内容や町への意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 1月31日(火)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120番地 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【12月号の答え・正解者】2月号で発表します。お楽しみに!

あつま未来箱・インターネットでの意見等受理状況

厚真町をより良い町にするため、皆様のご意見などをお寄せください。

お寄せいただいたご意見などは、今後の町政の参考にさせていただきます。

【平成28年12月受理件数】 2件(インターネット2件)

【あつま未来箱】

厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、青少年センター、厚南会館、あつまクリニック、桂歯科クリニック、厚真歯科の町内7カ所に設置されています。



あつま未来箱

【電子意見箱】

自宅から簡単に意見を投稿することができる「電子意見箱」が、町公式ホームページに設置されています。トップページの左側バナー欄に「町へのご意見」がありますので、ご利用ください。

●厚真町ホームページ http://www.town.atsuma.lg.jp/

問い合わせ先

役場まちづくり推進課 企画調整グループ ☎27-3179 FAX 27-2328 ※ファックスでもご意見を受け付けています

編集後記

2016年は私にとつて 広報担当1年目となる節目の年でした。広報を通じて 皆さんの人と出合いがありました。取材等にご協力 いただいた皆さま、本当に ありがとうございます。



まちの
アイドル

＝ NO. 404 ＝



こなや くのすけ
小納谷 蔵之介くん



こせき ひまりちゃん
小関 ひまりちゃん



いけがわ しの
池川 詩乃ちゃん



おかざわ げんた
岡澤 元太くん